



# 東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑤ 『きょういく東村山』より

## 「一中図書館生まれ変わりプロジェクト」



学校図書館は、子どもたちの身近な場所にあり、読書センター・学習情報センターとして、子どもの読書活動推進には、欠かすことのできない場所です。そんな学校図書館を使いやすく、居心地の良い場所にするために、学校・保護者・地域の方・図書館が協力して整備を進めています。

今回は、東村山第一中学校（一中）図書委員会の「一中図書館生まれ変わりプロジェクト」での、整備の様子を報告します。

### ステップ1・本の引き抜き

まず、図書館の職員が学校へ出向き、図書委員会の生徒たちと一緒に、不要な本や傷んだ本の引き抜きをしました。机の上にどんどん積み上がっていく本の山。先生の掛け声とともに、生徒たちは手際よく片付けていきました。

### ステップ2・分類と本の移動

次は、分類のついていない本に、分類番号をつけてラベルを貼りました。そして、本の分類番号順に並ぶよう、本の大移動をしました。重たい本を大量に移動させなければならず、生徒たちは大変だったようです。

### ステップ3・見出し板作り

見出し板があると、本が探しやすくなるので、次は、牛乳パックを使って見出し板を作りました。図書委員長の生徒集会での呼びかけで、なんと600個もの牛乳パックが集まりました。

見出し板は4つの牛乳パックをつなげて、周りに色紙を貼り、ブックフィルムでコーティングして作りました。各学年で分担して作業しましたが、

熱意のある1年生女子や手先の器用な3年生男子が、活躍してくれました。コーティングは難しかったようで、生徒たちは苦勞していましたが、「完成した時は達成感があった！」などの感想があがりました。

### ステップ4・保護者の方も

ここまでの作業は、生徒たちが主体となって行いましたが、作業量が多く、月に1度の図書委員会では限界があります。そこで、保護者ボランティアの登場です。一中の保護者の方には、小学校で図書ボランティアを経験された方も多く、10数名の方が力を貸してくださいました。

こうして、皆が力を合わせ一中の学校図書館は生まれ変わりました。

市内の他の小・中学校でも、保護者や地域のボランティアの方が、学校図書館整備に協力してくださっています。これからも、皆さんの力をお借りしながら、子どもたちの読書環境の充実に努めます。

『きょういく東村山』第51号より

平成19年3月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会